

## 2 大豆

### (1) 国際的な大豆需給の概要

#### ○2009/10年度の大豆需給（予測）のポイント

大豆の供給面では、昨年度にとうもろこしからの作付転換により拡大した米国で作付けが伸び悩むものの、昨年度低下した単収の回復が見込まれ、南米は天候が平年並に推移すれば単収が回復する見込みであり、世界の生産量は増加が見込まれている。

需要面では、ブラジル等で減少するものの、引き続き中国等で搾油用需要を中心に拡大することから、世界の消費量は増加が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから、期末在庫率は前年度を上回ると見込まれる。

#### 【生産量】

生産量は、中国で減少するものの、世界第1位の生産・輸出国である米国や南米のアルゼンチン、ブラジル、パラグアイで増加することから、世界全体では前年度より28.9百万トン増加（13.6%）し、241.7百万トンとなる見込みである。

#### 【消費量】

消費量は、搾油用需要を中心にブラジルでは減少するものの、アルゼンチン、中国等で増加が見込まれることから、世界全体では前年度より9.0百万トン増加（4.0%）し、231.5百万トンとなる見込みである。

#### 【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より2.1百万トン増加（2.9%）し、75.3百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国ではアルゼンチン、パラグアイ等で輸出量の増加が見込まれている。一方、輸入国では、貿易量の約5割を輸入する中国の生産減で輸入量が増加に転じ、EUは輸入量の減少が見込まれている。

#### 【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから世界全体では前年度より9.3百万トン増加（21.9%）し、51.9百万トンとなり、期末在庫率は22.4%（3.3ポイント増）と前年度を上回る見込みである。

表－1 世界の大豆需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
<b>生産量</b>	<b>221.1</b>	<b>212.8</b>	<b>241.7</b>	…	<b>13.6</b>
米国	72.9	80.5	87.0	…	8.0
ブラジル	61.0	57.0	60.0	…	5.3
アルゼンチン	46.2	34.0	51.0	…	50.0
中国	14.0	16.0	15.6	…	▲ 2.5
インド	9.5	9.7	10.0	…	3.6
パラグアイ	6.9	3.8	5.8	…	51.3
カナダ	2.7	3.3	3.4	…	3.0
<b>消費量</b>	<b>229.5</b>	<b>222.5</b>	<b>231.5</b>	…	<b>4.0</b>
うち搾油用	201.7	192.8	200.8	…	4.2
中国	49.8	51.0	53.4	…	4.7
米国	51.6	49.2	50.3	…	2.2
アルゼンチン	36.2	33.4	36.7	…	10.1
ブラジル	34.9	35.0	34.6	…	▲ 0.9
EU-27	16.1	14.0	13.7	…	▲ 1.8
インド	9.4	9.6	10.0	…	4.7
日本	4.2	4.0	4.1	…	3.5
<b>貿易量</b>	<b>79.5</b>	<b>73.2</b>	<b>75.3</b>	…	<b>2.9</b>
(輸出)					
米国	31.6	33.7	34.3	…	1.6
ブラジル	25.4	26.3	24.0	…	▲ 8.6
アルゼンチン	13.8	7.4	9.4	…	27.0
パラグアイ	5.4	2.3	4.0	…	72.6
カナダ	1.8	1.9	1.9	…	1.3
(輸入)					
中国	37.8	37.5	38.1	…	1.6
EU-27	15.1	13.1	12.9	…	▲ 1.1
日本	4.0	3.7	4.0	…	8.2
メキシコ	3.6	3.5	3.5	…	1.2
台湾	2.1	2.1	2.3	…	9.8
タイ	1.8	1.6	1.7	…	8.3
インドネシア	1.1	1.2	1.6	…	33.3
<b>期末在庫量</b>	<b>53.1</b>	<b>42.6</b>	<b>51.9</b>	…	<b>21.9</b>
アルゼンチン	21.8	16.0	20.9	…	30.5
ブラジル	19.1	14.9	16.4	…	10.2
中国	4.2	6.3	6.3	…	▲ 0.8
米国	5.6	3.5	6.3	…	77.3
EU-27	0.8	0.5	0.4	…	▲ 11.8
<b>期末在庫率</b>	<b>23.1%</b>	<b>19.1%</b>	<b>22.4%</b>	…	<b>3.3</b>

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」

## (2) 大豆の主要生産・輸出国等の需給状況

### ア 米国

#### 【需給状況】

米国の生産量は、昨年度とうもろこしからの作付転換により拡大した大豆の作付けが伸び悩むものの、昨年度低下した単収の回復が見込まれ、前年度より6.5百万トン増加(8.0%)し、87.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、畜産向けの需要の回復による大豆粕需要の若干の増加や、搾油用需要の増加が見込まれることから、前年度より1.1百万トン増加(2.2%)し、50.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、南米が干ばつにより輸出余力が減少し、米国に輸出需要が集中すると見込まれることなどから、0.5百万トン増加(1.6%)し、34.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、2.8百万トン増加(77.3%)し、6.3百万トンとなり、期末在庫率は7.4%(3.1ポイント増)と上昇する見込みである。

#### 【生育進捗状況及び作柄】

大豆の主要18州の作付進捗率は、5月17日現在で25%であり、コーンベルト東側の主産地であるイリノイ州で作付が遅れていることから、前年度に比べ11ポイント、過去5年の平均に比べ19ポイントほど進捗が遅れている。

我が国の輸入先国シェア 1位 (2008年数量ベース73.5%)  
世界の生産量シェア 1位 (2009/10年度 36.0%)  
輸出量シェア 1位 (2009/10年度 45.5%)

表-2 米国の大豆需給 (市場年度: 9月~翌年8月)

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	72.9	80.5	87.0	...	8.0
消費量	51.6	49.2	50.3	...	2.2
うち搾油用	49.0	44.6	45.6	...	2.2
輸出量	31.6	33.8	34.3	...	1.6
輸入量	0.3	0.3	0.3	...	0.0
期末在庫量	5.6	3.5	6.3	...	77.3
期末在庫率	6.7%	4.3%	7.4%	...	3.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	25.96	30.21	30.35	...	0.5
単収(t/ha)	2.81	2.67	2.86	...	7.1

資料: USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」

#### ○ 米国大豆の生育進捗状況 (5月17日現在)

[生育進捗状況(2009/10年度大豆)]

作付率 25% (平年差: ▲19p、前年差: ▲11p)

## イ ブラジル

### 【需給状況】

ブラジルの生産量は、高水準な国際価格や肥料価格下落の影響を受け、収穫面積の増加が見込まれることから、前年度より3.0百万トン増加(5.3%)し、60.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用の減少に伴い前年度より0.4百万トン減少(▲0.9%)し、34.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、アルゼンチンの輸出量の増加に伴い前年度より2.3百万トン減少(▲8.6%)し、24.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、1.5百万トン増加(10.2%)し、16.4百万トンとなり期末在庫率も28.0%(3.7ポイント増)と増加する見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度のブラジルの大豆は、ブラジル南部では11月中旬から1月にかけて、深刻な干ばつがあった。2月には降雨があったものの、南部に位置するパラナ州の単収は前年度に比べ2割程度低下する見込みである。現在は収穫が終了したところである。

## ウ カナダ

### 【需給状況】

カナダの生産量は、前年度に上昇した単収が低下するものの、収穫面積が増加する見込みであることから、前年度より0.1百万トン増加(3.0%)し、3.4百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用を中心に増加することから、前年度より0.2百万トン増加(6.6%)し、1.9百万トンとなる見込みである。

輸出量は、在庫が低水準にあることなどから、引き続き前年度並みの1.9百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.2百万トンとなり、期末在庫率は4.0%(0.2ポイント減)となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

カナダの大豆は現在、作付けされているところである。

我が国の輸入先国シェア 2位 (2008年数量ベース 15.3%)  
世界の生産量シェア 2位 (2009/10年度 24.8%)  
輸出量シェア 2位 (2009/10年度 31.9%)

表-3 ブラジルの大豆需給 (市場年度: 10月~翌年9月)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	61.0	57.0	60.0 (…)	…	5.3
消費量	34.9	35.0	34.6 (…)	…	▲0.9
うち搾油用	31.9	32.0	31.6 (…)	…	▲1.3
輸出量	25.4	26.3	24.0 (…)	…	▲8.6
輸入量	0.2	0.1	0.2 (…)	…	200.0
期末在庫量	19.1	14.9	16.4 (…)	…	10.2
期末在庫率	31.6%	24.3%	28.0% (…)	…	3.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	21.30	21.40	22.00 (…)	…	2.8
単収(t/ha)	2.86	2.66	2.73 (…)	…	2.6

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」、  
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly (May 15, 2009)」

我が国の輸入先国シェア 3位 (2008年数量ベース 8.8%)  
世界の生産量シェア 7位 (2009/10年度 1.4%)  
輸出量シェア 5位 (2009/10年度 2.5%)

表-4 カナダの大豆需給 (市場年度: 8月~翌年7月)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.7	3.3	3.4 (3.4)	…	3.0
消費量	1.8	1.7	1.9 (1.9)	…	6.6
うち搾油用	1.4	1.3	1.4 (…)	…	5.7
輸出量	1.8	1.9	1.9 (1.8)	…	1.3
輸入量	0.3	0.3	0.4 (0.4)	…	12.9
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (0.3)	…	0.0
期末在庫率	4.2%	4.2%	4.0% (8.2%)	…	▲0.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.17	1.21	1.30 (1.32)	…	7.4
単収(t/ha)	2.31	2.73	2.62 (2.58)	…	▲4.0

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」、  
AAFC 「Pulse and Special Crops Outlook (April 30, 2009)」

## エ 中国

### 【需給状況】

中国の生産量は、単収が増加するものの、収穫面積がとうもろこしにシフトして減少することから、前年度より0.4百万トン減少（▲2.5%）し、15.6百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要の増加等から前年度より2.4百万トン増加（4.7%）し、53.4百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.1百万トン減少（▲11.1）し、0.4百万トンとなる見込みである。一方、輸入量は国家備蓄政策による影響で、国内市場がタイトになることから0.6百万トン増加（1.6%）し、38.1百万トンとなる見込みである。なお、貿易量は世界の約5割を占めている。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの6.3百万トンとなり、期末在庫率も11.7%（0.6ポイント減）となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

中国最大の大豆産地である黒龍江省では、5月初旬に作付けが始まり、中旬から下旬には終了する見込みで、特に同省東部では作付けが進んでいる。今後の天候に注視する必要。

### 【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取消し、輸出税を課している。12月1日からは、黄大豆と種子用大豆を除き輸出税は撤廃された。なお、一般的に味噌・豆腐・納豆等に用いられているのは黄大豆で、5%の据置き。

## オ アルゼンチン

### 【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、昨年度は干ばつにより収穫面積が減少し単収が低下したことで、生産量が大幅な減少となったが、2009年度の天候が通常に推移すれば、前年度より17.0百万トン増加（50.0%）し、51.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、搾油用需要を中心に増加することから、前年度より3.3百万トン増加（10.1%）し、36.7百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の回復に伴い、2.0百万トン増加（27.0%）し、9.4百万トンとなる見込み。

この結果、期末在庫量は、前年度より4.9百万トン増加（30.5%）し、20.9百万トンとなり、期末在庫率は45.3%（6.0ポイント増）と上昇する見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2008/09年度は、主要産地であるアルゼンチン東部の多くで干ばつの影響を受け、1月26日に非常事態が宣言された。2月に入り降雨があったものの平年以下の降水量であり、土壌水分を回復させる程ではなかった。大豆の収穫進捗率は、5月21日現在で96%に達し、現在はほぼ収穫が終わっている。

### 【貿易情報】

大豆輸出税を中心とした政府の農業政策に対し、農家は2008年10月及び2009年2月にストライキを実施。さらに3月にも大豆相場下落と干ばつの被害を受けて、大豆の輸出税の現行35%からの引き下げを求め、穀物の売却を拒否するストライキを行った。

我が国の輸入先国シェア 4位（2008年数量ベース 2.3%）  
世界の生産量シェア 4位（2009/10年度 6.5%）  
輸入量シェア 1位（2009/10年度 50.6%）

表－5 中国の大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	14.0	16.0	15.6 (…)	…	▲ 2.5
消費量	49.8	51.0	53.4 (…)	…	4.7
うち搾油用	39.5	40.6	43.1 (…)	…	6.0
輸 出 量	0.5	0.5	0.4 (…)	…	▲ 11.1
輸 入 量	37.8	37.5	38.1 (…)	…	1.6
期末在庫量	4.3	6.3	6.3 (…)	…	▲ 0.8
期末在庫率	8.5%	12.3%	11.7% (…)	…	▲ 0.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.75	9.50	9.10 (…)	…	▲ 4.2
単収(t/ha)	1.60	1.68	1.71 (…)	…	1.8

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (May 15, 2009)」

世界の生産量シェア 3位（2009/10年度 21.1%）  
輸出量シェア 3位（2009/10年度 12.5%）

表－6 アルゼンチンの大豆需給（市場年度：10月～翌年9月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(Oil.W)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	46.2	34.0	51.0 (…)	…	50.0
消費量	36.2	33.4	36.7 (…)	…	10.1
うち搾油用	34.6	32.0	35.1 (…)	…	9.7
輸 出 量	13.8	7.4	9.4 (…)	…	27.0
輸 入 量	3.0	1.0	0.0 (…)	…	▲ 100.0
期末在庫量	21.8	16.0	20.9 (…)	…	30.5
期末在庫率	43.5%	39.3%	45.3% (…)	…	6.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	16.60	16.50	18.00 (…)	…	9.1
単収(t/ha)	2.78	2.06	2.83 (…)	…	37.4

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Oilseeds: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly (May 15, 2009)」